

清水トレセンU-11台湾遠征報告書

清水トレセンU-11担当

高山 雅光

平成27年3月20日（金）～24日（火）に於いて、清水トレセンU-11の台湾遠征を実施しましたので、報告致します。

■ 3月20日（金）移動

静岡国際空港（飛行機）→桃園国際空港（飛行機）→福素大飯店（バス）

夕食：機内食

■ 3月21日（土）新竹縣市國際少年足球節（新竹市國際少年サッカー大会）

◎試合会場→新竹市體育場

◎試合形式→8人制 20分-5分-20分

◎参加チーム→清水トレセンU-11・台北聯合・台中國安・新竹宇宙・台北勇士・
香港Happy・新竹聯合・高雄瑞祥（計8チーム）

<Aブロック>清水トレセンU-11・台北聯合・台中國安・新竹宇宙（4チーム）

<Bブロック>台北勇士・香港Happy・新竹聯合・高雄瑞祥（4チーム）

◎4チーム（2ブロック）のリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントへ、下位2チームがフレンドリートーナメントへ進出する。

◎試合結果（予選リーグ）

チーム	清水トレセン	台北聯合	台中國安	新竹宇宙	勝	負	分	勝点	順位
清水トレセン		○3-1	○6-2	○8-0	3	0	0	9	1
台北聯合	●1-3		●2-3	○3-1	1	2	0	3	3
台中國安	●2-6	○3-2		○3-1	2	1	0	6	2
新竹宇宙	●0-8	●1-3	●1-3		0	3	0	0	4

予選1位通過で、決勝トーナメントへ進出。

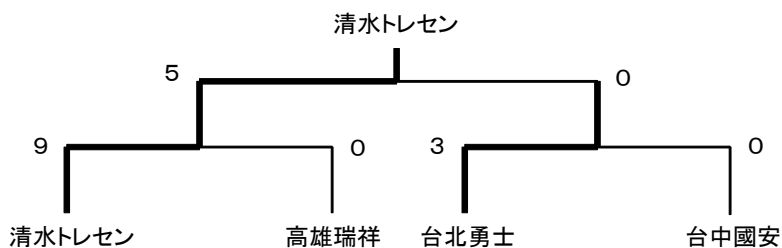
朝食：ホテルにてバイキング方式

昼食：台湾式弁当

大会1日目終了後、交流会に参加。（夕食含む）

■ 3月22日（日）新竹縣市國際少年足球節（新竹市國際少年サッカー大会）

◎試合結果（決勝トーナメント）



決勝トーナメントを勝ち抜き、優勝！

朝食：ホテルにてバイキング方式

昼食：台湾式弁当

大会終了後、試合会場周辺の祭りを見学。見学後、宿泊先の台北市へ移動。（バス）

夕食：台湾料理

■ 3月23日（月）観光

中正紀念堂・龍山寺・九份・免税店を見学。

朝食：ホテルにてバイキング方式

昼食：バイキング方式

夕食：石鍋料理

■ 3月24日（火）観光・帰国

忠烈祠・免税店を見学後、桃園国際空港へ移動。（バス）

桃園国際空港（飛行機）→静岡国際空港（飛行機）

朝食：ホテルにてバイキング方式

昼食：飲茶料理

夕食：機内食

■試合について

大会前日深夜にホテル着、大会1日目の朝早くに起床・準備であった為、長旅の疲れも含め、体調を心配しましたが、選手14名全員元気に試合を迎えることができました。

【成果】

- ・対戦チームの中には1学年上の選手もいて、体格的・フィジカル的に劣る場面もあったが、選手1人1人が「気づき」をもって柔軟に対応していた。
- ・大会を通じて「個」の基本技術（コントロール・パス）は高く、清水の選手特有のドリブルで仕掛ける局面（ドリブル突破）も多く見受けられた。また「個」の打開だけではなく、数的優位な局面（2対1）をつくりゴールを奪うシーンも多く見受けられた。
- ・試合ごとに1st DFの決定がはやくなり、相手のボールホルダーの自由を奪うことができていた。

【課題】

- ・相手選手へのマークの意識が過剰になり、最終ラインの選手間の距離が広がってしまい、スペースをつくってしまう場面があった。
- ・ボールだけを観てポジションを取る選手が多かった。ボールだけではなく、ゴール・味方・相手も観る、観ておく作業が必要であった。
- ・GKとの連携（ビルドアップ含む）を密にする必要がある。ボールを保持しているDFの選手が、状態が悪いにもかかわらず強引に前を向こうとする、無理な体勢で蹴るなどで相手選手にボールを奪われていた局面があった。前向きのGKを使いビルドアップし、ボールを失わない判断が必要である。

■生活面について

- ・集団行動の大切さを学ぶことができた。
- ・海外の文化や習慣に触れ、日本と違った環境下で生活することにより、普段日本での「あたりまえ」のありがたさを感じ取れることができた。
- ・遠征期間中、「自分のことは自分でやる」の課題を与え、一人一人が責任感をもって行動する意識付けができた。

■最後に

今遠征にご尽力をいただいた関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。また、台湾の皆さまの温かい心遣いにも感謝するとともに御礼を申し上げます。ありがとうございました。